

核物質防護に関する不適合情報

2023年8月22日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	核物質防護上、周辺防護区域と立入制限区域においては、人の侵入を確認するため、照明設備を備え、必要な明るさを備えることが要求されている。 柏崎刈羽原子力発電所では、上記要求に基づき、2022年11月にLED照明を通常の街灯とは別に追加で設置している。今回、設置したLED照明のうち、2023年6月9日に8台の電源が照明設置以降接続されておらず、不点灯であったことを見張人の巡視の際に確認した。なお、翌日に電源を接続することで正常な状態に復旧している。 2023年6月の原子力規制検査(基本検査)で本件の確認を受けたところ、原子力規制庁より、防護区域等の出入り口の監視、防護区域の巡視、防護設備の点検及び保守のパフォーマンスに劣化が見られ、不点灯であった8台のうち1ヶ所は監視に支障がある照度であったとの判断がなされた。 本件は、照明設置後に夜間の現場での点灯確認を行わなかったこと、照明設備が新設されたことを巡視する見張人に知らせていなかったことが原因と考えている。今後必要な情報が漏れずに伝わるよう、マニュアルへの反映や、見張人に対して防護設備のあるべき状態を把握できるように教育することで対応していく。 (2023年8月23日お知らせ済み: https://www.tepco.co.jp/press/release/2023/1666019_8713.html)	2023/6/9	

3. 公表区分Ⅲ 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	防護区域境界の点検で、見張人が持ち込み許可証の期限が切れたカメラを発見した。入域する協力企業作業員はカメラ持ち込み許可証の期限の確認を失念しており、周辺防護区域の見張人による点検でも、許可証の期限切れが見落とされたもの。 対策として、社員及び協力企業作業員にカメラ持ち込み時の有効期限の確認を周知した。また、点検手順を見直し、確実に照合できるよう対策を実施した。	2023/5/24	

4. 公表区分その他 3件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	監視カメラの映像が、映らないことを確認した。他のカメラにて監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2023/7/7	
2	監視カメラの洗浄機能が、正常に動作しないことを確認した。監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2023/7/10	
3	侵入検知器の機器異常検出機能が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/7/23	